

2025 年度 国際地域研究学会 第 15 回研究大会

Association of International Studies and Regional Development: 2025 15th Conference

第二部 個別発表

11 月 30 日(日) 10 : 30 ~ 12 : 00

開催方式 オンライン (Zoom)

* URL は AISRD のメールに記載

発表タイトル

「生理とアグノトロジー 歴史的背景と現代的課題」

発表者 小林美琉留会員

土屋匠平会員

荒木和華子会員

発表概要

戦後、生理休暇が制定されてから、80 年を迎えようとしている現在では、企業は女性の健康に配慮した取り組み、メディアは媒体での描写など、生理のタブー解消に向け、様々な取り組みがなされ、理解を促す動きがある。一方で、休暇制度の普及不足、男女間の理解の差、生理を隠す風潮が残っていることなど、今もなお多くの課題が存在する。本報告では、現代にまで続く生理のタブー視を生み出した歴史的背景と現代の課題について、アグノトロジー（無知学）という観点から考察する。

